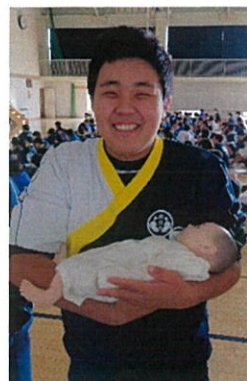


# 「いのちの授業」

## 「赤ちゃんふれあい体験」実施

10月25日(水)2年生を対象に、上智大学 総合人間科学部看護学科/助産学専攻 助教 光武智美 先生による「いのちの授業」を行いました。内容は、いのちの始まりの様子からお腹の中の赤ちゃんの成長の様子についてでした。生徒は、胎児の成長の様子をそれぞれの成長段階の人形を見たい触れたいしながら学びました。「人が誕生する確率は3億分の1」との話から生徒は自分たちが産まれてきた尊さを考えていました。



いのちの授業で誕生について学んだ生徒たちが、11月7日～9日に実際に赤ちゃんたちと触れ合いました。「親学」推進ネットこうのす 代表 志賀周子 先生をはじめ埼玉県家庭教育アドバイザーの協力を得ながらの実施となりました。

この活動の事前指導として、立正大学から赤ちゃん人形や妊婦ジャケットをお借りし、家庭科の授業の中で妊婦体験と抱っこ体験を行ってきました。

ふれあい体験当日の赤ちゃんに触れ合う場面では、緊張しながらも笑顔で接する生徒の姿がたくさん見られました。参加してくれたお母さんたちは、生徒の質問に答えたい、積極的に赤ちゃんに触らせ、抱かせてくれたいしました。また、生まれる前の胎児の頃からの様子を母子手帳や写真、日記を見せながら生徒に対応してくれるお母さんが多く、いのちの授業で学んだことを改めて振り返る場面となりました。

生徒は「赤ちゃん抱っこ体験」「いのちの授業」「赤ちゃんふれあい体験」を通じてたくさんのお母さんのことを学ぶ機会となりました。協力いただいたたくさんの方々、大変ありがとうございました。





